

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	一般社団法人山口県地域木造住宅相談センター、田村建材株式会社	※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。						
提案プロジェクト名	山口アクティブ・エイジングシティ	※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。						
対象地域	<table border="1"> <tr> <td>都道府県名</td> <td>山口県</td> <td>※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。</td> </tr> <tr> <td>市町村名</td> <td>「山口市」「宇部市」「周南市」「防府市」「萩市」「長門市」「美祇市」</td> <td>※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。</td> </tr> </table>	都道府県名	山口県	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。	市町村名	「山口市」「宇部市」「周南市」「防府市」「萩市」「長門市」「美祇市」	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。	
都道府県名	山口県	※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。						
市町村名	「山口市」「宇部市」「周南市」「防府市」「萩市」「長門市」「美祇市」	※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。						
① 関連する分野	環境（ バイオマスタウン構想を実現し、循環型社会の構築を実現した 緑溢れる山口 ） 超高齢化（ 若者との絆を深める維新の街づくり ） その他（ 件と山口を中核とした県央部100万都市の構築 過疎県から国際交流で栄える未来都市 ）	※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。						

② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標 (2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿))	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
---	---

持続可能な循環型社会の構築の為「バイオマスタウン計画案」については、「山口市」「周南市」「宇部市」において策定されている。「山口市」を中心に東部の隣接する「周南市」と、南部の隣接する「宇部市」はある共通点をゆうして繋がっている。東部は、ほぼ森林に覆われた「緑豊かなグリーンベルト」である。そこに生活する人達の共通点は多く、共通の悩みがある。「中山間・過疎化・高齢化の進んだ地域」である。若者達は都市部へ或いは、郊外のベッドタウンへ住む地方に於ける「核家族化」の結果がある。現在各市の提案された「バイオマスタウン構想案」の進行状況は、バイオマスエネルギー利用が、先行して「バイオマスエネルギービジョン」の実施にスタートが切られ、負担の状況では進展する気配が薄い。採算が合わない部分の補助金を投入した「レレットストーブの普及とペレットの供給」の市民への普及が当面の課題としている。森林整備をして「緑の循環」が構築されて実質的なカーボンオフセットに繋がるはずである。原点となる「バイオマスタウン構想案」の実施に殆んど手がつけられていない状況の中で、「バイオマスタウンこうそう」の実現の為の「提案書」の作成を行ない、実務当局経由で市長宛の提言を提出差し上げています。インターネット社会に於ける民間人のねとわーくは、ある面では共通な目標を掲げて意見交換する「専門会議」である。一般的に行われる専門家、有識者会議については、上下関係や利害関係があり特に、革新的な意見が出ません。硬直化の中での「環境未来都市」創りは出来にくく、地域でも「公募委員枠を半分は必要」で、初めて実態に即した検討がされ、役割分担がなされ、実質予算の出動があれば確実に進捗すると考えます。その意味合いを含めて、「維新」の気持ちで提案を致します。まず「緑豊かで、水清く、美味しい空気をいっぱい吸い、赤ちゃんから老人まで安心して暮せる、そして絆作りの進んだ都市作り」の為に精神を基に施策の実施を行う。山口商工会議所「山口未来都市構想委員会」でまとめられた構想は、速やかに市民に開示され、山口市役所に於かれては「山口未来都市構想推進室」が、「地域振興室、中山間振興室」を含めた統合本部で総合的な検討・実施に入る。市議会におかれても、「超党派議員連盟」が作られ基本的な学習とともに、各々議員の地域住民に「環境未来都市」の意見を求めてまとめることから、必然的に20年先、30年先、50年先の「我が新山口市」が見えてくる。実現できる。

③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
--	---

政治と行政住民意識が一体でなければならぬ、住民の考えを基に代議員が選出され、行政・自治体職員も其々の立場で、住民の考えを常に吸収して住民の満足の状況を把握して公職にある人として研鑽努力しなければならない。現在の姿は少しずんでいるように考える。専門的な仕事をこなす人は、民間の人事異動と同様に「適材適所」の配置で、プロジェクトの責任者は完了するまでは固定する必要がある。まず、住民と事業者と市の執行部、議員の信頼の証である「絆」創りの施策が必要である。そして、変革の為に重要な施策が「山積されるのではなく、費用対効果がでなければ職員の問題を考え、市民生活の改善の為のコストに無駄があれば、「適材適所」「費用対効果」「定められた期間内での求められる成果」の規律・体質の改善を望みたい。現在、民間企業では中間管理職を削減しなければいざいさんがとれません。同じように、必要な管理職もあくまでも管理範囲の目標達成が100%異常でなければ、率先垂範のフレイミング・マネージャーでなければならぬと思います。公職にあるものは民間の範となり民に尽くす本来のあり方こそ、「環境未来都市」形成により日本の新都市作りの範となれるはずで、山口市全体の改革への体質改善が最優先で、その中に生まれる必要な事が「環境未来都市」の基盤であり、「住民の共通の夢」が「環境未来都市 山口」であると思います。求められるアイデアを提供したいと思います。

④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)	
--	--

番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	先進医療拠点作りと連携体制	国民病となった「ガン」の撲滅は、早期発見と早期治療方針の決定により官民双方の負担の軽減化。	H23. 9～H25. 3	山口大学付属病院、国立山陽病院、他医療機関、市	「医療サービス」	○
(2)	森林資源の循環型社会構築	「山口市」の平成22年2月1日認定の「山口市バイオマスタウン構想」の再検討・集大成後実施	H23. 9～H28. 3	山口市、民間企業、森林組合、JA山口、山口新ガス企業	「社会経済システム」	○
(3)	都市資源の循環型社会の構築	「産業廃棄物の終末処理」の内容の再検討・再検証により、「新製品＝実質的な利活用技術」の開発・実施検証	H23. 9～H33. 3	山口市、民間企業、山口県産業技術センター等	「社会経済システム」	○全額補助を望む。
(4)	「我がふる里」理解運動	「我が町の歴史を知る、自然を知る、特産物を知る、産業を知る」「郷土愛Q様決定戦」…絆の育成	H23. 9～	山口市、協賛企業、各自治会、子ども会	「まちづくり」	○
(5)	「保健」「免疫向上」…啓発運動	「医療先進都市」に付随し、「生薬」の材料の栽培と山狩り 里山つくりの一環として、農業試験場も活用する。	H23. 9～H29. 3	山口市、山口県農業技術センター(山口市内)、自治会	「まちづくり」	○半額国庫補助
(6)	「保健」「免疫向上」…啓発運動	「総合予防・免疫向上」の「予防医学」の啓発事業…医療費の軽減に繋がるような市民の自己啓発と観光客誘致	H23. 9～H28. 3	山口市、山口県農業技術センター、山口市観光協会	「まちづくり」	○
(7)	新しい形の地方都市の枠組み作り	「絆なつくり」…中山間地「定期借地権」を利用した「新農業特区」「観光特区」で新コミュニティタウン作り	H23.9～H33. 3	山口市、農業技術センター、JA、商工会議所	「ビジネスモデル」	○
(8)	健康・省エネ住宅による街づくり	高齢者住宅「新モデル」提案「健康・省エネ住宅を推進する国民会議」との連携により、「先進提案住宅モデル」提案	H23. 9～H28. 3	山口市、民間企業「山口協議会」、森林組合、建築士会	「ビジネスモデル」	○
(9)	「バイオマスタウン」事業製品開発	平成22年度林野庁研究開発事業で開発した「木皮・木片等の木質繊維を利用した断熱材」を、未来製品として完成	H23. 9～H28. 3	山口市、民間企業、森林組合、木材関係業者	「技術」の構築	
(10)	「バイオマスタウン」事業製品開発	木利用バイオマスを利用した次世代農業用、工業用の材料と製品の開発(特に竹、間伐促進材)による、山と川の整備	H23. 9～H33. 3	山口市、森林組合、民間企業、山口県産業技術センター	「技術」の構築	
	「花と緑に親しむまちづくり」	「花と緑に親しむまちづくり」…「市民農園」「家庭菜園」で花と緑に親しむ、「癒し」「和み」「親しみ」で「絆」つくり	H23. 9～H28. 3	山口市、自治会、子ども会	「まちづくり」	

⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容	※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。
---	---

現在山口県内には、「ガン診断」「がん治療」「ケア施設」が十分では有りません。しかも、県都・山口市には残念ながら全く不十分です。連携したい宇部市には山口大学医学部付属病院、国立山陽病院、PET施設を最近設置したセントヒル病院等があり多くの県民が不便の中やむを得ず通っています。交通のアクセスが悪いと言う難点を抱えています。もう一箇所周南市に「本城クリニック」があり、総合病院の紹介でこなしています。がん検診を行う上では、CT、MRI、マンモグラフィ、PRTの検査機器を初め、治療方針を決め治療する為の総合的な判断が必要で、そこで、山口市だけで物事が考えることは出来ません。血液検査から、通常のX線撮影、エコーで発見されるのは場所によっては、「死刑の宣告」に近い思いが派生します。あくまでも連携が取られて市民、県民、国民の安心する「近未来」が実現できます。医療費の負担は、患者だけに留まらず家族に多く押し加かかると同時に、健康保険・医療負担も診断が遅れば必要以上の負担が掛ります。関連して、日頃からの「予防医学」或いは、治療方針も「生薬・漢方」を利用して、免疫亢進による予防・治療の可能性も捨てがたいのが「人間」の未知なる部分です。ケアについても国民共有の課題として、気候性がよくて、感性による人間の不思議な力の創造もあり、交通のアクセスの検討とともに総合的な観点から、飛躍的に発生すると思われる「国民病・がん対策」に対する「未来都市」の創造が臨まれます。山口市内では、地中海的気候を享受できる「秋穂地区・佐山地区・阿知須地区」が、新山口市からのアクセス整備で可能であり、宇部市・周南市あるいは防府市、萩市、長門市、美祇市、山陽小野田市、等々への波及効果から山口県(下関市はすでに福岡県の経済圏に入っている。)の80%の県民に受け入れられる。県都としての役割が果たせる。「バイオマスタウン構想」に絡む事業については、「京都認定書」による世界的な環境問題の解決に固執する我が国の立場からすると、国内の対策も急がれるところで、しかし、森林派生のバイオマスの活用が遅れています。エネルギー利用と農業利用・堆肥化で終わりそうな状況に有る中で、平成22年度林野庁補助事業において、世界で初めての「綿状解繊」に成功し「住宅断熱材」として成果を得ました。じつは、省エネ対策は「断熱」だけでは対策半分です。保温性があってこそ省エネに繋がります。農業の世界も事実上肥沃化しすぎて人間の体で言えば「糖尿病」です。新たな山口発の技術は、日本の省エネと健康住宅の研究に一石を投じるとともに、工業材料としての新たな提案も致します。